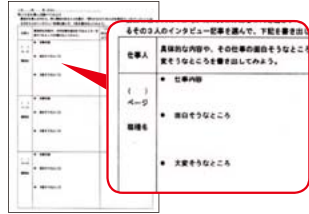


『じぶん未来BOOK』
ワークシート(抜粋)



50人の職業人の中から3人を選び、仕事内容やおもしろそうな点、大変そうな点などを書き出す。次に一つの職業について詳しく調べる。

『じぶん未来BOOK』
ポスターセッション



調べた職業についてはグループごとにポスターとしてまとめ、全員分を廊下に掲示。



総合学科推進部部長
棟安信博先生
「大学がただだから専門学校という消去法ではなく、本人が納得できる進路選びができるようフォローしたいです」

「R・C・A・P」を参考にした学問研究後に
『じぶん未来BOOK』を読み込み
2年次の科目選択へとつなげていく

兵庫県・県立 太子高校

1970年に創立、2007年に総合学科に改編した兵庫県立太子高校。当初は2年次から6系列に分かれて学んでおり、生徒は1つの系列を選ぶことで、選択科目でそれほど悩む必要はなかった。しかし、「それで本当に選んでいるといえるのだろうか」という議論が持ち上がる。そして、昨年度より、系列を選ぶのではなく「二つひとつの科目を選ぶ」というやり方に変えることにした。「定食からアラカルトに変えたということです。興味関心に向き合って二つひとつじっくり選ぶのは非常に大切なこと。たとえ回り道にしても、選ぶという作業が進路を切り拓く力をつけることになると思います」と、総合学科推進部部長の棟安信博先生は言う。

毎週の課題を通して
じっくり考えさせる

これに伴い、1年次の「産業社会と人間」(産社)における科目選択までの流れを大幅に見直した。まず4月に、適性検査「R・C・A・P」を受ける。そして5月に「R・C・A・P」の結果を参考に6000字で自己紹介文を書く。産社は毎週水曜日に行われるが、授業中に課題が出され提出は翌月曜日の朝。自己紹介文はこの課題の二つだ。課題はじっくり取り組むべきレポート形式のものがほとんどで、生徒は常に考える、立場に置かれる。

6月は学問研究と「進路ナビ」。学問研究はグループで学問について調べ互いに発表し合う。これに限らず、産社の授業は必ず、調べる→書く→発表するという流れで実施。その際、教員がきめ細かに指導できるように、クラスを半分にした20人を1単位とし、1人ずつ担当教員がつく。

学問研究に続いて実施する「進路ナビ」は、同校が「3ナビ(大学ナビ・仕事ナビ・進路ナビ)」と呼び重点を置いている3つのガイダンスのうちの一つ。大学や専門学校から講師を招いて模擬授業や講話を行ってもらうが、ユニークなのは生徒が受ける講座を選ぶ際、学校名は明かされていない点。講座の題名や学部・学科名だけが書いてある一覧を見て純粋に興味関心のある学問や、仕事から選ぶようになっている。

まず3人の職業人を選び
最後に二つに絞り込む

7月からは「外に出て学ぼう」と題した夏休み課題学習の準備に入る。課題は、大学・専門学校訪問とレポート作成。「じぶん未来BOOK」の学習、「表現トレーニング」の学習の3つだ。なかでも「じぶん未来BOOK」については、夏休み期間を利用して徹底的に読み込む。まず、インタビュー記事で紹介されている50人の職業人全員について、添付のワークシートを使いひとこと感想

を書く。そして、興味がある人を3人選んでワークシートに少し詳しい内容を書く。最後に二つの職種(1人)に絞り込み、その職業について詳しく調べるのだ。

「じぶん未来BOOK」を選んだのは幅広い職業が紹介されている情報量の多さが魅力だったから」と棟安先生。「また単なる職業紹介ではなく、登場する人たちがそれぞれ自由に、自分を語っているし、必ずしも高校時代からまったくその職業を目指したわけではなく紆余曲折あるというのでもいいですね」とのこと。視野を広げ、ゆとりと将来について考える材料にしてほしくて、夏休みの課題としたのだそう。

夏休み明けには、職業人を招いての講演「仕事ナビ」を実施。そして、科目選択に向けて、ここまで産社で学んできた自己理解や他者理解、学問研究、職業研究などについてまとめの作業に入る。全員が「私」をテーマにスピーチしたり、「じぶん未来BOOK」を読んで調べた内容については、グループごとにまとめポスターセッションを行うなど、発表し情報を共有する。その後は、いよいよ選択科目を確定させていく。

産社をリニューアルして今年で2年め。棟安先生によると「さまざまな取り組みの意味がきちんとつながるようになり、学習内容に連続性をもたせることに苦心しました」とのこと。生徒には今やっていることの意味や、将来の進路について考えさせながら、教員もそれに寄り添い話し合ってきた。これからの課題は「生徒がさまざまなことに興味を持ち、学力をつけていく」と棟安先生。「これまで以上に生徒の変化を教員が待つようになりました。生徒も教員も遠回りしてもいい。枠にとらわれず、本当に自由に選択する力を身につけ、いずれは世の中をアツと言わせるような人材が出てほしいと願っています」。

(取材文 永井ミカ)

スクールデータ
生徒数715人(男子210人・女子505人)
総合学科18学級
進路状況(2013年度)／
大学進学39.4%・短大進学14.5%、
専各進学30.6%、
就職10.4%、その他5.2%
兵庫県摂保郡太子町系井字系井池19
電話 / 079-277-0123
http://www.hyogo-c.ed.jp/~taishi-hs/

